

みんなで春をつくろう



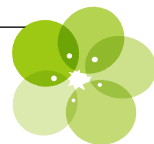
Kasuga

[市報 かすが] 平成31年4月15日号

- P02 求められる地域のつながり
- P06 31年度当初予算
- P10 市からのお知らせ
- P13 トピックス
- P14 情報ひろば

天神山小学校卒業式





求められる 地域のつながり

住みよいまちとは?と尋ねられれば、答えはさまざまでしょう。

「交通利便性」、「住環境」、「水と緑の公園」、「安全安心なまち」などがありますが、それ以上に「人とのつながり」、「地域とのつながり」が春日市の住みよさを支えています。



みんなでつくろう

住みよいまち

自治会は、同じ地域に住む人たちが生活環境の改善や親睦、相互扶助のための活動を自主的に行う組織です。春日市には35の自治会があり、それぞれが地域の特色に合わせて自分たちの地域に合った活動をしています。

さまざまな活動に取り組む自治会は、住みよいまち春日市に欠かせない組織です。

問い合わせ先
地域づくり課協働推進担当
☎(584)1111(代) F(584)1153

自治会って必ず入るの?

生活様式の変化や価値観の多様化、転出入の激しさなどから、自治会に未加入の人が増えてきていることも事実です。未加入者が増えると、自治組織としての機能が失われるだけではなく、まちの治安や美観が損なわれることにもつながります。よりよい生活環境を維持するためにも、地域に住む皆さん一人一人の助け合いが必要です。

少子高齢社会の切り札

少子高齢社会が進む中、個人では解決できない問題が増えていくことが予想されます。今後は、地域の人たちが結束して、見守り活動を行ったり、子育てに協力したりしながら、住民同士が支え合っていくことが必要となります。また、積極的に地域活動に参加することにより、自身の健康維持や生きがいのづくりにも役立ちます。

自治会活動に参加してみませんか？

安全で安心して暮らせるまちづくり

地域の防犯パトロール

地域で行われる定期的な防犯パトロールが、犯罪の少ない安全安心なまちを作っています。

親子連れで参加する人もいます。皆さんの参加がまちの安全を守ります。



参加者の声

「お隣の人に誘われて、参加してみました。意外と知らなかったご近所の方とも知り合いになってよかったです」

誰もが住みよいまちづくり

公民館カフェ

最近多くの地区に広がってきて

いる公民館カフェ。公民館にカフェのように立ち寄って、お茶をしながら親睦を深めます。気が向いた時に、のんびり公民館で過ごしてみませんか。



参加者の声

「閲覧板でカフェのことを知り、参加しました。お茶やお菓子を食べながら過ご

し、近所の友だちも増えました。カフェの時間帯は、好きな時に出入りできるので、気軽に参加できます」

友好なコミュニティのまちづくり

地区の夏祭り

夏祭りは、自治会主催の行事の中でも、特に盛大に実施され、地域の夏の風物詩として毎年多くの人でにぎわっています。地元の公園や小学校の運動場などで開催されています。出店や出し物など、お楽しみはそれぞれ。子どもたちもたくさん参加しています。ぜひ今年の夏祭りをのぞいてみませんか。

参加者の声

「春日市に転入して初めて、友人と一緒に夏祭りに行きました。中学生が司会をしていて驚きました。子ども同士でたくさん来ており、地域ならではのお祭りだなと感じました。焼きそばを食べたり、ヨーヨー釣りをしたりして楽しい時間を過ごせました」



「自治会って何をしているのか分からない」、「自治会に入ったら大変そう」と思っている人はいませんか。自治会活動は、「できる時に、無理なく、楽しみながら協力する」が基本です。

あなたが興味を持ったものから、ぜひ自治会活動に参加してみませんか。

各活動や行事の開催日時などについては、住んでいる地区の公民館へ問い合わせてください。

また、自治会へ加入を希望する人も、住んでいる地区の公民館へ直接連絡してください。地区公民館が分からないときは、地域づくり課へ気軽に問い合わせてください。

みんなでつくろう

コミュニティ・スクール

春日市にコミュニティ・スクールが導入されて15年目を迎えます。

「コミュニティ・スクール」は、学校・家庭・地域の三者が役割と責任を分かち合い、子どもを共に育てる、共育の文化・風土づくりを目指した取り組みです。

学校

家庭

地域



問い合わせ先

地域教育課こども共育担当

☎ (558) 1270

✉ (584) 1153

熟議のテーマ

「命と生活を守る学校防災・地域防災のあり方」(春日東小)

学校では、災害時に子どもを確実に保護者へ引き渡す訓練を行っています。しかし、子どもたちの命を守るには、さらなる地域・保護者・行政との連携が必要です。(学校)

コミュニティ・スクールの特性を生かし、災害時の学校・家庭・地域の役割についてルールを作ってはどうか。(PTA)

小学校と中学校が合同で訓練している校区もありますよね。同じように取り組めないでしょうか。(PTA)



自治会では中学校区単位で合同の防災訓練を実施していますよ。情報を共有することが大事ですね。(自治会)

そうですね。意見を出し合って情報共有することで、学校と地域の思いがつながっていきますね。(自治会)

コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会は、自治会、PTA、教職員(校長・教頭・学校事務職員)、民生委員・児童委員または主任児童委員、学識経験者、地域コーディネーター、行政職員などで構成されています。学校運営協議会では、さまざまな立場の人たちが、学校経営・運営のあり

学校運営協議会での「熟議」

方や子どもたちが抱える教育上の課題などを解決するため、「熟議」を行っています。「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。その結果は、コミュニティ・スクールでの取り組みに反映されていきます。

子どもたちを加えた「四者」による コミュニティ・スクール

子どもたちのコミュニティ・スクールへの関わりは、一歩先に進みつつあります。子どもたちは今、学校・家庭・地域に支えてもらうだけでなく、地域の一員として自治会行事に参画するなど、地域に貢献し、還元する活動を多く行っています。また、学校運営協議会にも参加し、委員の大人たちと堂々と意見交換する姿も見られます。

地域行事の一部を自分たちで企画・運営したり、多くの市民と関わったりする体験は、子どもたちの社会に関わる力（市民性）、自己有用感やコミュニケーション能力の向上などにつながっています。



▲学校運営協議会への児童の参加（大谷小）



▲地区夏祭りでの司会（白水小）



▲地域清掃活動（春日北小）

思いをバトンタッチしていく、 担い手が必要

コミュニティ・スクールというと難しく聞こえるかも知れませんが、意識しないまま関わっている場合もありますね。

例えば、PTAの「一人一役」という取り組みがあります。全ての保護者が、丸付け先生や愛校作業など、年間で最低1回は役割を担おう、という取り組みです。実はこれも、コミュニティ・スクールに関わっている、といえます。

コミュニティ・スクールは、自治会をはじめとする地域の方、保護者など多くの方に支えられた、「地域とともにある学校」であり、人々を「つなぐ」ものです。

今、さまざまな場面で自治会、PTA、放課後子供教室などの子どもの育成に関わっている方々から聞こえてくるのは、「バトンを渡し、思いをつないでいく担い手が不足している」との声です。

春日市は、市民と行政による「協

教育長 山本 直俊
やまもと なおとし

働のまちづくり」を目指しています。未来を担う子どもたちを、地域ぐるみで育てていくためには、より多くの人が関わり、それぞれが少しずつ役割を広げていただくことに大きな意味があります。

まずはできる人が、できるときに、できることを、何か一つでもやってみる。学校運営について気付いたことを、学校運営協議会の委員に意見として伝える、といったこともできるのではないのでしょうか。そういった行動が、みんなで「春川コミュニティ・スクール」をつくることにつながっていきま



平成31年度春日市当初予算

～社会保障と教育に力を注ぐ未来志向型予算～

財政課財政担当 ☎(584) 1111(代) 📠(584) 1145

平成31年度の当初予算をお知らせします。今年度は、小学校施設の大規模改修やラグビーワールドカップ2019™関係事業などにより、教育費を前年度比26.6%の増とするとともに、公私連携型保育所大和保育所施設整備事業や地域密着型特別養護老人ホーム等整備事業といった、全世代に対する社会保障にも力を注ぐ予算を編成しました。

▶ 予算総額 555億1,049万円(前年度比+2.7%)

●一般会計予算 333億3,432万円(前年度比+1.4%)

歳入

自主財源の要である市税は、給与所得などの増による個人市民税の増額、堅調な新築数を考慮した固定資産税の増額を見込んでいます。実質的な地方交付税(地方交付税および臨時財政対策債の合計)については、国の計画を加味した上で、減額を見込んでいます。

歳出

経常的な歳出予算の縮減を図りましたが、消費税率の引き上げに伴う物件費の増、障がい者の施設介護給付費をはじめとした扶助費の増並びに福岡都市圏南部環境事業組合負担金および春日・大野城・那珂川消防組合負担金などの補助費等の増などにより、前年度比で増額となりました。

●特別会計予算 221億7,617万円(前年度比+4.6%)

各事業の主な増減の理由は、次のとおりです。

- 国民健康保険事業(前年度比+0.9%)：1人当たりの医療費の伸び
- 後期高齢者医療事業(前年度比+5.5%)：保険料軽減対象者の増に伴う負担増
- 介護保険事業(前年度比+2.5%)：被保険者数の増に伴う給付費の伸び
- 筑紫地区介護認定審査会事業(前年度比皆増)：筑紫地区輪番制の当番(平成31～2020年度)
- 下水道事業(前年度比+16.3%)：雨水貯留施設工事費などの増

※市民1人当たりの予算額は、平成31年2月末現在の人口(113,162人)をもとに算出しています。

また、残高は全て平成31年度末見込みのものです。

■平成31年度当初予算

会計区分		予算額		対前年度比	
		平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計		333億3,432万円	328億6,752万円	4億6,680万円	1.4%
特別会計	国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	96億5,115万円	95億6,267万円	8,848万円	0.9%
	後期高齢者医療事業特別会計	14億3,271万円	13億5,760万円	7,511万円	5.5%
	介護保険事業特別会計	69億8,263万円	68億1,210万円	1億7,053万円	2.5%
	筑 紫 地 区 介 護 認 定 審 査 会 事 業 特 別 会 計	8,047万円	—	8,047万円	皆増
	下 水 道 事 業 会 計 (公 営 企 業 会 計)	収入 35億9,734万円	収入 28億7,668万円	7億2,066万円	25.1%
		支出 40億2,921万円	支出 34億6,343万円	5億6,578万円	16.3%
	特 別 会 計 合 計	221億7,617万円	211億9,580万円	9億8,037万円	4.6%
全 会 計 合 計		555億1,049万円	540億6,332万円	14億4,717万円	2.7%

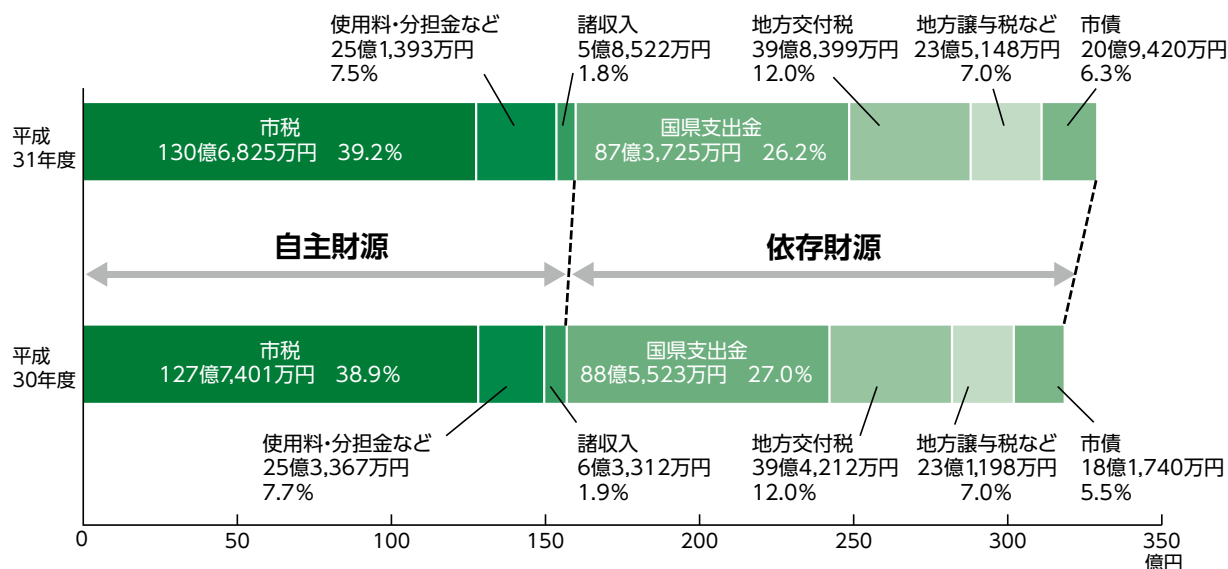
※特別会計合計、全会計合計では、下水道事業会計の支出額を計上しています。

➤ 一般会計 歳入

自主財源の柱である市税は2年ぶりの増収となりますが、実質的な地方交付税は減収となる見込みです。なお、建設事業に伴う市債は増収となる見込みです。

増減した主な財源(増減額)(▲はマイナスを表す)

県支出金(+3億98万円)、市税(+2億9,424万円)、市債(+2億7,680万円)、繰入金(+2億4,374万円)
財産収入(+1億2,543万円)、繰越金(▲4億円)、国庫支出金(▲4億1,896万円)



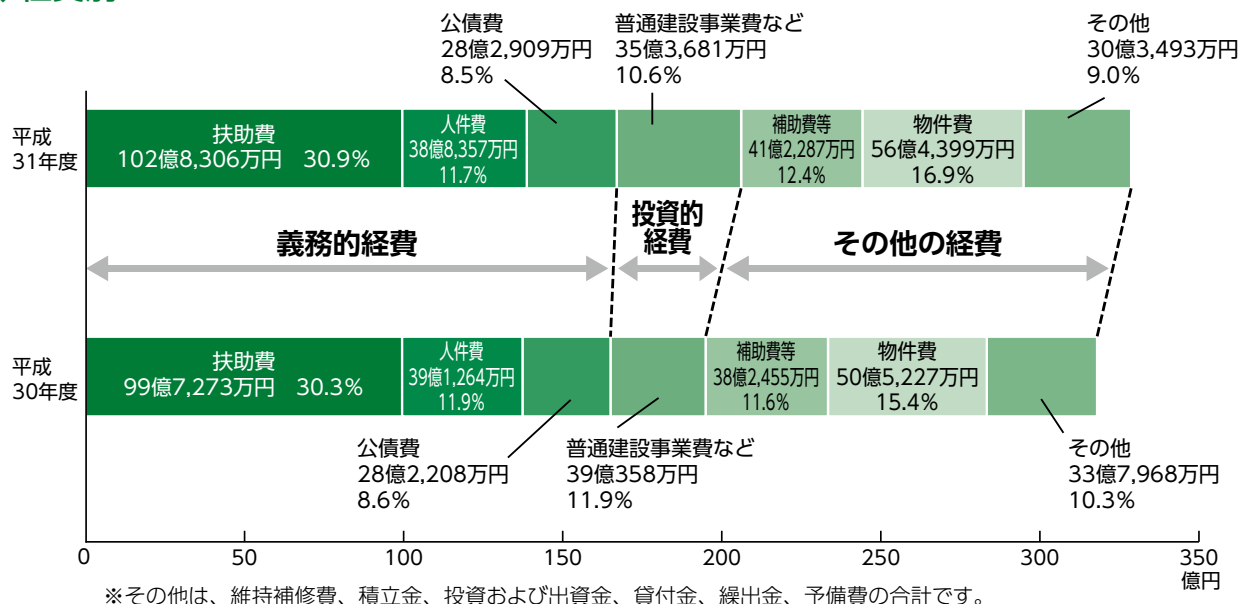
※使用料・分担金などは、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金の合計です。
※地方譲与税などは、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計です。

➤ 一般会計 歳出

義務的経費は、人件費が減となりましたが、扶助費および公債費が増となりました。扶助費は、障がい者関係給付費の増など依然として増加の一途をたどっています。

投資的経費は、新南部工場関連周辺環境整備事業費、若草市営住宅建替事業費、春日野中学校普通教室空調設備整備事業費および庁舎等維持補修費などの減により3億6,677万円の減となりました。

◆性質別



※その他は、維持補修費、積立金、投資および出資金、貸付金、繰入金、予備費の合計です。

◆目的別

支出区分	目的	予算額	構成比	市民1人当たりの 予算額
民生費	子どもや障がい者、高齢者などの福祉	159億8,034万円	47.9%	14万1,216円
教育費	小・中学校の運営や、文化・スポーツの振興	42億2,899万円	12.7%	3万7,371円
総務費	市の運営、戸籍、選挙など	30億5,783万円	9.2%	2万7,021円
土木費	道路や公園など都市基盤の整備	30億1,709万円	9.0%	2万6,662円
公債費	借入金の返済	28億2,910万円	8.5%	2万5,000円
衛生費	健康づくりやごみ処理、リサイクルなど	24億5,446万円	7.4%	2万1,690円
消防費	市民の生命を守り、災害を防ぐ	10億2,916万円	3.1%	9,095円
商工費	商工業の振興、中小企業の育成	3億5,959万円	1.1%	3,178円
議会費	議会の運営など	2億7,229万円	0.8%	2,406円
労働費	雇用拡大や失業対策など	3,205万円	0.1%	283円
農林水産業費	農業振興など	2,544万円	0.1%	225円
その他	その他の支出や、緊急を要するとき	4,798万円	0.1%	424円
合計		333億3,432万円	100.0%	29万4,572円

平成31年度に実施する主な事業(全会計)

▶引き続き進めるもの

こども医療事業(4億69万円)、かすがふるさと応援寄附金推進事業(3億606万円)、地区公民館等大規模改修事業(2億1,004万円)、欽修市営住宅建替事業(1億8,923万円)、ふれあい文化センター管理事業<指定管理>(1億8,527万円)、総合スポーツセンター等管理事業<指定管理>(1億5,640万円)、基幹系情報システム更新事業(1億3,995万円)、大規模大会誘致推進事業(1億2,796万円)、若草住宅建替事業(1億2,063万円)

▶新たに取り組むもの

公私連携型保育所大和保育所施設整備事業(2億9,612万円)、地域密着型特別養護老人ホーム等整備事業(1億6,779万円)、情報系サーバ更新事業(5,706万円)、基幹系ネットワークサーバ更新事業(5,021万円)、春日共同利用施設解体事業(2,736万円)

◆一部事務組合・企業団などへの負担の状況

本市が加入する一部事務組合への負担金と春日那珂川水道企業団への出資金などの状況は、下表のとおりです。

施設建設に係る借入の償還開始による公債費の増に伴う福岡都市圏南部環境事業組合負担金の増などにより、全体として2億7,872万円の増になりました。

区分	共同処理する事務	予算額	市民1人当たりの 予算額
春日大野城衛生施設組合	不燃ごみの処理	2億 597万円	1,820円
春日・大野城・那珂川消防組合	消防・救急業務	9億7,493万円	8,615円
春日那珂川水道企業団	水道用水の供給	3,886万円	343円
筑慈苑施設組合	火葬場の運営	5,234万円	463円
福岡県自治振興組合	職員研修および公文書の保存など	156万円	14円
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合	消防団員の公務災害補償事務	77万円	7円
筑紫自治振興組合	筑紫地区地域活動支援センターの管理運営など	886万円	78円
福岡都市圏南部環境事業組合	可燃ごみの処理	3億5,185万円	3,109円
福岡県後期高齢者医療広域連合	後期高齢者医療制度事務の一部	9億3,011万円	8,219円
合計		25億6,525万円	2万2,668円

➤ 一般会計 基金(市の預貯金)の状況

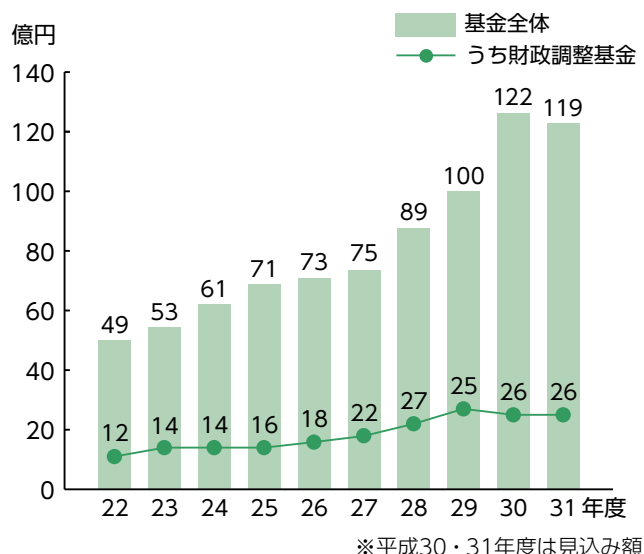
基金の見込み残高 119億1,629万円

市民1人当たりの残高 10万5,303円

基金とは、家計に例えると預貯金に当たるものです。
基金には、あらかじめ使い道を決めて積み立てるもの(連続立体交差事業等整備基金など)と、大幅な減収や災害など予期しない支出に備えて積み立てるもの(財政調整基金)があります。

平成31年度は、連続立体交差事業などの実施に使うため、基金残高は減少する見込みです。

■基金残高の推移(決算ベース)



➤ 一般会計 市債(市のローン)の状況

市債の見込み残高 277億1,793万円

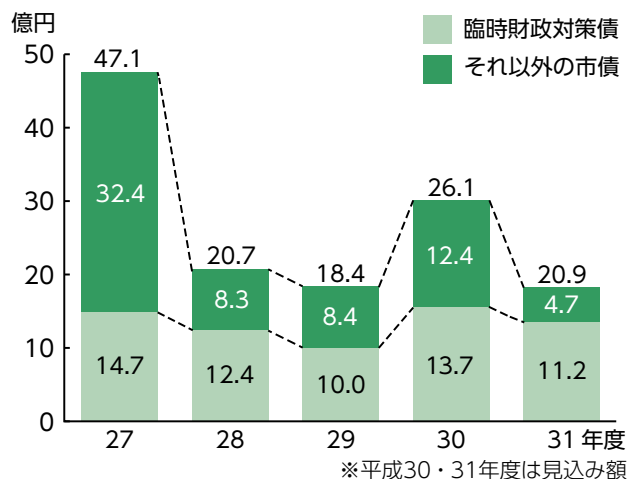
市民1人当たりの残高 24万4,940円

市債とは、家計に例えるとローンに当たるものです。

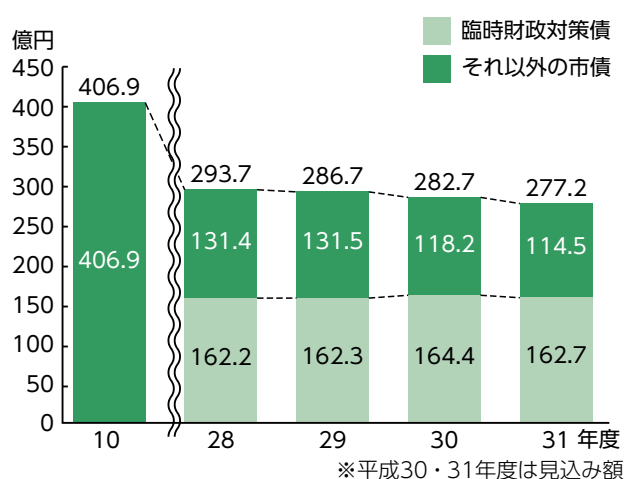
公共施設などをつくるときに、その費用を一括して支払えない場合に市債を発行し資金を借り入れることがあります。これには、借り入れた資金を長期にわたって返済していくことで、将来利用する市民との費用負担を公平にする効果もあります。

市は、総合スポーツセンター施設整備事業などの公共施設建設費の支払いに伴い、平成26年度および平成27年度は新規の借入れが増加し、年度末残高も増加しましたが、その後は新規の借入れをできる限り抑制しているため、平成31年度末の残高は減少する見込みです。一方で、国の地方交付税の財源不足を補うための市債(臨時財政対策債)の残高はほぼ横ばいで推移し、市債残高全体に占める割合は、依然として50%を超える見通しです。

■新規借入額の推移(決算ベース)



■市債残高の推移(決算ベース)





4月21日(日)は 市長選挙、市議会議員一般選挙投票日

問い合わせ先 選挙管理委員会事務局
☎ (584) 1111(代) ☎ (584) 1131

投票日時 4月21日(日)
午前7時～午後8時

場所 「投票所入場整理券」に記載されている投票所
(各小学校体育館)

投票できる人 平成13年4月22日までに生まれており、平成31年1月13日以前から春日市に居住し、選挙人名簿に登録されている人

※選挙人名簿に登録されていても、投票日までに市外に転出した人は投票できません。詳しくは市報3月15日号や市ウェブサイトを見てください。

○期日前投票

投票日当日に、出張や旅行などで投票できない人は、事前に「期日前投票」をすることができます。期日前投票をするときは、事前に郵送する「投票所入場整理券」と「期日前投票宣誓書」にボールペンで必要事項を記入して持参してください。

投票期間 4月15日(月)～20日(土)

時間 午前8時30分～午後8時

場所 市役所404～406会議室

○投票所入場整理券と期日前投票宣誓書

各世帯に、投票所入場整理券と期日前投票宣誓書を封書で郵送します。投票の際は、必ず自分の入場整理券を切り離して投票所に持参し、受け付けに提示してください。入場整理券が届かなかったり、紛失したりした場合でも、選挙人名簿に登録されている場合は、投票所で再交付の手続きができます。投票所で係員に申し出てください。

○市長選挙は記号式投票

市長選挙の投票は、市の条例に基づき「記号式投票」で行います。投票用紙に候補者全員の氏名を印刷しているので、投票する候補者の欄に、記載台に備え付けの「○」のスタンプを押してください。

※期日前投票と不在者投票は「記名式投票」(投票用紙に候補者の氏名を書く投票)です。



ゴールデンウィーク(5月3日(金)～5日(日)) ごみ収集を休みます

問い合わせ先 環境課ごみ減量担当
☎ (584) 1111(代) ☎ (584) 1147

5月3日(金)・祝～5日(日)・祝は、ごみの収集を休みます。「燃えるごみ」の振替収集は行いません。「燃えないごみ」の収集日がこの期間に該当する地区

は、振り替えて収集します。

▷陶器・金属類

3日(金)・祝→2日(木)に振替

5日(日)・祝→6日(月)に振替

ゴールデンウィーク中のごみ収集

日程	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
ごみ収集	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○



利用できます 市男女共同参画苦情処理制度

申請・問い合わせ先 人権男女共同参画課人権男女共同参画担当
☎ (584) 1201 F (584) 1181

男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画に関する人権侵害についての苦情や救済の申し出を受け付けています。

受け付けた苦情は、申出人や関係者(相手方)から話を聞き、男女共同参画推進の視点から公平・公正に検討し、必要な場合は相手方に改善を求め、申出人にも報告します。秘密は厳守します。

苦情などの申出方法 苦情等申出書を窓口を持参するか、郵送する

※苦情等申出書は、市男女共同参画センターか、市ウェブサイトから入手できます。

※代理人が提出する場合は、委任状が必要です。



5月1日(水)・2日(木) ナギの木苑を臨時開館します

問い合わせ先 老人福祉センターナギの木苑
☎ (595) 0513 (F兼用)

この機会に利用してみませんか。
なお、無料送迎バスは運休します。

臨時開館日時 5月1日(水)・(祝)、5月2日(木)

午前9時～午後5時

※浴場利用は、午前10時～午後4時30分です。

場所 老人福祉センターナギの木苑

入苑料

▷60歳以上：100円

▷障がい者・小学生(市民)：100円

▷その他(市民)：200円

▷市外住民：300円



平成31年度市民活動活性化事業補助金 申請受付を開始します

申請・問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当
☎ (584) 1111(代) F (584) 1153

市民公益活動の活性化や新たなまちづくりの担い手の育成、協働のまちづくりの実現のために、市民公益活動の事業経費の一部を補助し、身近なまちづくり活動を支援します。市民公益活動とは、複数の市民が自主的かつ自発的に行う公益の増進に寄与する活動のことです。

対象団体 次の全ての条件を満たす団体

▷市内に活動拠点がある

▷1年以上活動実績がある

▷団体構成員が5人以上(うち半数以上が市内に居住または通勤・通学している)

▷活動が団体構成員以外にも開かれている

対象事業 地域福祉、健康増進、体力増進、子育て、防犯、防災、生涯学習、文化振興、消費者啓発、国際交流、男女共同参画、自治会支援、その他地域社会に貢献する内容(環境の保全および美化を除く)に関する事業

※年度内に、他の団体などから補助金などの財政的な支援を受ける事業は、対象外です。また、過去にこの「春日市市民活動活性化事業補助金」または「春日市市民公益活動事業補助金」を受けた事業と同一内容の事業も対象外です。

対象期間 交付決定を受けた日～2020年2月29日(土)

補助金額(上限額20万円)

▷補助金交付対象経費の合計額が5万円以下の場合：全額

▷補助金交付対象経費の合計額が5万円を超える場合：5万円を超える額の2分の1に5万円を加えた額

※補助対象とならない経費もあります。詳しくは、問い合わせてください。

申請方法 4月15日(月)～12月27日(金)に、必要書類を提出する

※必要書類は、地域づくり課か市ウェブサイトで入手できます。



▲平成30年度補助事業の活動風景



助成期間が延長されました 肺炎球菌予防接種を受けませんか

申請・問い合わせ先 健康スポーツ課健康増進担当

☎ (501) 1134 F (501) 0051

肺炎球菌予防接種の費用助成について、国の経過措置が延長されたため、昨年度と同様の助成を行います。

肺炎は、日本人の死因第3位であり、肺炎によって亡くなる人の約95%が65歳以上です。

また、季節を問わず誰でもかかることがあり、発症後に急激に症状が進むこともある疾患です。

肺炎の原因菌には、さまざまな種類のものがありますが、最も多いのは肺炎球菌による肺炎です。

予防接種を受けて肺炎を予防し、重症化を防ぎましょう。

自己負担の減免を受けるには、必ず事前に申請してください。

対象 市に住民登録があり、過去に1度も23価肺炎球菌予防接種を受けたことがなく、次のいずれかに該当する人

▷昭和30年4月1日以前に生まれた人

▷接種日において60～64歳の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に重い障がいがあり、身体障害者手帳1級に相当する人

接種期限 2020年3月31日(火)

自己負担金 3,000円(生活保護世帯、市民税非課税世帯の人は、無料)

※事前に減免の手続きを行わないと、約8,000円の費用がかかるので、注意してください。

手続きの流れ

①身分証明書を持参し、健康スポーツ課健康増進担当(いきいきプラザ)か高齢課高齢者支援担当(市役所1階)で申請し、決定通知書を受け取る。

※代理人による申請も可能です(同居者以外の場合は委任状が必要)。

※市民税非課税世帯のうち、同居者に市民税の申告が済んでいない人がいる場合は、申告が必要です。

※手続きは平日のみです。

②事前に病院に予約の上、決定通知書を持参し、予防接種を受け、病院で自己負担金を支払う。



子どもの笑顔に包まれて働きませんか 春日市公・私立保育園(所)・幼稚園合同就職説明会

問い合わせ先 こども未来課保育担当

☎ (584) 1111(代) F (584) 1115

春日市公・私立保育園(所)・幼稚園合同就職説明会を開催します。

市内の認可保育園(所)全12園、幼稚園全9園がそれぞれブースを設け、各園の特色や保育方針、仕事内容などを分かりやすく説明します。まずは話を聞いてみたいという人も大歓迎です。

フルタイム勤務に加え、短時間勤務(1日4時間程度の勤務、週3日程度の勤務)の募集もあります。

申し込みは不要です。普段着で参加してください。

また、園によっては、保育士だけでなく、栄養士なども若干名募集します。

日時 5月11日(土)

午後1時～4時

※開催時間内は、出入自由です。

場所 市役所2階大会議室

参加保育園 昇町保育所・春日原保育所・須玖保育所・大和保育所・岡本保育所・春日白水保育園・春日中央保育園・若竹保育園・あいあい保育園・まみい保育園・春日やよい保育園・春日どろんこ保育園

参加幼稚園 恵星幼稚園・泉ヶ丘幼稚園・春日幼稚園・春日小鳩幼稚園・須玖幼稚園・宝幼稚園・森の木幼稚園・くすの木幼稚園・もみの木幼稚園

“平成最後の春”を締めくくる

桜のモザイクアートをお披露目

昨年10月から今年1月まで実施した写真投稿キャンペーンに、654枚もの笑顔の写真が集まりました。

これらの写真をもとに、ブランドイメージ「みんなで春をつくろう」の「春」にちなみ、この春、市民の笑顔で桜の花のモザイクアートを咲かせました。ハートのデザインは、市民の地域愛などを表現。

完成披露会では、福岡女学院大学の学生が司会進行やハンドベル演奏で会場を大いに盛り上げました。



▲西鉄電車(左上)、西鉄バス(右上)、市役所ロビー(下)

6年間通った学び舎に別れを告げる

春日市立小学校卒業式

3月15日、市内全小学校で卒業証書授与式が行われ、1,230人が、慣れ親しんだ学び舎から旅立ちました。

天神山小学校では、岡 久勝校長が「皆さんの未来が明るいものであることを祈っています」と、はなむけの言葉を贈ると、卒業生からは、地域の人や先生、保護者に対して、旅立ちに向けた強い決意が感じられる感謝の言葉と歌が贈られました。



▲感謝の言葉と歌を贈る卒業生

空家等の適切な管理に向けて

協定書に調印

3月25日、市、公益社団法人県宅地建物取引業協会、同協会筑紫支部の3者が「空家等の適切な管理の促進に関する協定」を結び、調印式を行いました。

この協定は、周辺環境に悪影響を及ぼす空き家などの発生を抑止するため、3者が協力して、所有者の相談を受けるなど、さらに安全で安心な住環境を作るために締結されました。



▲県宅地建物取引業協会会長加藤龍雄さん(右)、同協会筑紫支部長青山博秋さん(左)と市長

迅速で適切な活動で被害が最小限に

消火活動に対し感謝状を贈呈

1月に市内のマンションで、鍋の火の消し忘れにより発生した火災で、119番通報や初期消火活動を行った3人に対し、3月18日、春日・大野城・那珂川消防本部消防長から感謝状が贈呈されました。

吉田元子さんは119番通報、津村大作さんは鍋に濡らした毛布をかぶせて消火、知念 清さんは持参したスプレー式消火器でレンジフードを消火するなど適切な活動を行いました。



▲感謝状贈呈式に参加した、前列左から津村さん、知念さん

イベント Event

春日のまちにアメリカがあった
ベースハウスを歩く
第2回ブラカサ(歴史散歩)

戦後から昭和47年にかけて、市内に数多く建設された米兵用借り上げ住宅(米軍ハウス)が、今もわずかながら残っています。この米軍ハウスを巡り、当時を知る語り部の人に話を聞きます。

日時 5月19日(日)

午後1時〜3時30分

集合場所 西鉄白木原駅西口

(大野城市白木原1-6-16)

定員 20人(応募多数の場合は抽選し、結果は5月9日(木)に当選者のみに連絡)

申込方法 4月19日(金)〜5月4

日(土)・祝に、電話、ファックス、Eメール、直接窓口のいずれかで住所、氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 奴国の丘歴史資料館

☎(501)1144

📠(573)1077

✉ nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp



筑紫法人会

映画上映会(無料)

私たちのくらしと税を考える

日時 5月25日(土)

午後3時〜5時10分

場所 大野城まどかぴあ大ホール(大野城市曙町2-2-1)

映画題名 「オケ老人！」

定員 700人(事前申込者優先)

申込方法 電話、ファックス、Eメールのいずれかで氏名、市町村名を伝える

申込・問い合わせ先 (公社)筑紫法人会

☎(924)6387

📠(922)6569

✉ movie@chikushihoujin.kai.com



講演・講座 Lecture

応急救命講習Ⅱ

AED講習会(無料)

人工呼吸や胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)などの応急救命を学びます。

応急救命を学びます。

対象 市内に居住または通学する中学生以上の人か、市体育協会会員

日時 5月26日(日)

午前9時30分〜午後1時(受付：午前9時〜)

場所 総合スポーツセンター体育館3階武道場1・2

講師 春日・大野城・那珂川消防本部職員

定員 40人(申込先着順)

持ってくるもの 筆記用具

申込方法 5月10日(金)までに、電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、修了番号(修了証を持っている人のみ)を伝える

※所定の申請書を使用する場合は、市体育協会ウェブサイト(<http://kasuga-talkyoo.com>)から入手できます。

申込・問い合わせ先 市体育協会

☎(574)9131

📠(574)9138

✉ kasuga.talkyoo@gmail.com



子育て通信

問い合わせ先

子育て支援課子育て支援担当(いきいきプラザ内)

☎(584)1015 📠(501)0051

✉ kosodate@city.kasuga.fukuoka.jp

イヤイヤ期との付き合い方

イヤイヤ期は、自我が芽生えてくる2歳前後から始まり、行動をコントロールできるようになる4歳前後まで続くもので、自律性を育むために重要な時期です。

イヤイヤ期の子どもには、我慢する力が十分には備わっていません。自己主張する力がアクセルとすると、我慢する力はブレーキです。ブレーキよりも先にアクセルが発達するため、2歳から3歳までは自己主張が優先されます。

この時期に子どもに積ませたい経験は、「自分の意思を育むこと」と「大人の提案を受け入れることを学ぶ」ということです。

①遊び感覚の繰り返しの楽しさを使う

子どもの好きなキャラクターを主人公に話を作って、反応を観察し、一緒に場面を楽しむ。

②2つの条件を掲示して選ばせる

「公園に行って遊ぶ?」それとも「電車を見に行く?」など。子どもにとって「自分で決めて、行動に移す」ということが重要です。また、二択でも納得しない場合は、子どもが全体的な状況を把握できるようになってきている証拠であり、より詳しく説明するチャンスになります。

③見通しがつくような声掛けをする

時間を決めるときは、「長い針が6にきたらね」や「10数えたら片付けようね」など、分かりやすい区切りを伝えましょう。買い物のときは、買う物を子どもに先に伝え、見通しがつくようにしましょう。

これはあくまでも一例であり、子どもの個性によって、対応はさまざまです。対応に悩んだときは、「子ども・子育て相談センター☎(584)1015」に相談してください。

スポーツ Sports

第13回春日市シングルス
オープンテニス大会

参加者募集

日時 5月26日(日)

午前9時～午後6時(駐車場
開場：午前8時30分)

※雨天時は、6月2日(日)に延期
します。

場所 総合スポーツセンター他
種目

▽男子シングルス：A級、B級、
シニア(60歳以上)、シニア
(70歳以上)

▽女子シングルス：B級、C級、
シニア(60歳以上)

参加費 1人当たり2000円
(協会員は1500円)

定員 各クラス18人、かつ総参
加者数54人以内(申込先着順)

※組み合わせは当日発表し、参
加者数により種目を変更する
場合があります。

申込方法 5月12日(日)(必着ま
でに、往復はがき、ファック
ス、Eメールのいずれかで種
目、住所、氏名、電話番号、
協会会員は所属クラブ名、優
勝経験者は年度、雨天時の出
欠を伝える

申込・問い合わせ先

▽郵送：伊藤良久(いとうよしひさ)
〒816-008
33 紅葉ヶ丘東7-160)
▽ファックス：福岡眞木子(まきこ)
☎(586)0648(F兼用)

※必ず電話で受付の確認をし
てください。

▽Eメール

Info@kasuga-tennis.tigo.
jp



練習成果を発揮しませんか
第48回春日市水泳大会
参加者募集

県民体育大会夏季大会(8月
18日(日))の出場選手選考を兼ね
た大会です。

対象 市内に居住または通勤・
通学する小学生以上が、市水
泳連盟に加入している人

日時 6月9日(日)

午前10時～午後3時(受付：.
午前8時50分)

場所 総合スポーツセンター温
水プール

申込方法 5月11日(土)までに、
申込書を窓口に提出する(月
曜日、祝日は休み)

※開催要項、参加申込書は、総
合スポーツセンター体育館、
温水プール、北スポーツセン

申込・問い合わせ先

ター、市役所、いきいきプラ
ザ、ふれあい文化センターに
置いてあります。

※申込書は、市体育協会ウェブ
サイト([http://kasuga-talky
o.com](http://kasuga-talky.o.com))からも入手できます。

申込・問い合わせ先 市体育協
会(総合スポーツセンター2
階)

☎(574)9131

F(574)9138

第3回春日市スプリングフットサル
フェスティバル
参加チーム募集

対象 中学生以上で、フットサ
ルを楽しめる人

日時 5月12日(日)

午前10時～午後6時

場所 総合スポーツセンターフ
ットサルコート

種目 フットサル女子の部、フ
ットサルミックスの部(女子
2人以上)

参加費 1チーム3000円
(正日徴収)

定員 各部5チーム(申込先着
順)

申込方法 電話かEメールでチ
ーム名、代表者氏名、連絡先
参加希望種目を伝える

申込・問い合わせ先 市サッ

カー協会 水野(みずの)
☎090(5080)1138
nhiro081@hotmail.com

環境 Environment

省エネと緑化推進に取り組もう
無料配布します
緑のカーテン用の種

市民や市内事業者を対象に、
緑のカーテンを実施するための
種を無料で配布します。

※簡単なアンケートを行います。

配布期間 4月16日(火)～23日(火)

(平日のみ)

※無くなり次第終了します。

配付時間 午前8時30分～午後
5時

配布場所 環境課(市役所3階)

配布物 ゴーヤの種、宇宙アサ
ガオの種など(1人1セット
まで)

問い合わせ先 環境課環境保全
担当

☎(584)1111(代)

F(584)1147

家庭で簡単生ごみダイエット
ダンボールコンポスト講習会
2回連続講座(無料)

コンポストの材料と生ごみを
混ぜて、微生物の力で栄養たつ

ぷりの堆肥を作る「ダンボール
コンポスト」の講習会を開催し
ます。2回目は、参加者に合わ
せたアドバイスをします。

受講後はダンボールコンポス
ト用具の購入費補助を受けるこ
とができます。

日程

▽初回：5月16日(木)

▽2回目：6月13日(木)

時間 午後1時30分～3時

場所 市役所403会議室

定員 15人(申込先着順)

持ってくるもの 筆記用具、印
鑑

申込方法 4月15日(月)～26日(金)

に、電話、ファックス、Eメ
ールのいずれかで住所、氏名、
電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 環境課ご
み減量担当

☎(584)1157

F(584)1147

gomigen@city.kasuga.
fukuoka.jp



子育て Parenting

**ファミサポかすが
まかせて会員・どっちも会員
講習会参加者募集(無料)**

ファミリー・サポート・センターかすがは、「子育ての手伝いをしたい人」が、「子育ての手伝いをしたい人」を支援する会員同士の相互援助活動組織です。子どもが健やかに育ち、子育てしている人たちが安心して生活できる環境づくりを目的としています。

全日程の出席ができない場合は、次回の講習会で未受講分を受けると会員登録ができます(子育てマイスター、子育て支援員は、一部免除あり)。ファミサポ会員や講習内容に興味がある一般市民も受講できます(1日のみ可)。

託児(生後3カ月以上、無料、先着10人、要申し込み)もあります。

日程・内容・講師

▽5月14日(火)

ファミリー・サポート・センターの仕組みと活動、子ども遊び

同センターアドバイザー

▽5月17日(金)

気持ちのよいコミュニケーションのために
森田理香さん(筑紫女学園大学人間科学部准教授)

▽5月21日(火)

子どもの事故と安全について

(救命講習)

春日・大野城・那珂川消防署

警防課救急隊員

※動きやすい服装で参加してください。

▽5月30日(木)

子どものからだと健康(医師の立場から)
横山隆人さん(横山小児科医師)

▽5月31日(金)

地域の子育てと子どもの遊び
こども未来課子育て支援員
※全講習を受けた人は会員登録を行います。

時間 午前10時～正午(5月21日(火)のみ午前9時30分～正午)

場所 いきいきプラザ

申込方法 4月15日(月)～5月8日(水)に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所、氏名、電話番号、託児の有無(有のときは、子どもの名前、生年月日)を伝える

持ってくるもの 筆記用具、縦3cm×横2.5cmの証明写真

(まかせて会員は2枚、どっちも会員は3枚)

申込・問い合わせ先 同センターかすが事務局

☎(584)7700

📠(501)0051

✉famisapo@city.kasuga.tukuoka.jp

**パパママ教室
夫婦で一緒に考えよう
これからの出産・育児のこと**

対象 妊娠経過が順調で、出産予定日がおおむね6月～8月の市内に居住する妊婦とその夫
※子ども連れでの参加はできません。

日時 5月18日(土)

午前10時～正午

場所 いきいきプラザ

内容 助産師による話、育児体験

参加費 1組400円

定員 20組(申込先着順)

持ってくるもの 母子健康手帳

申込方法 4月15日(月)～5月15日(水)に、次のQRコードから申し込み、電話で夫婦の氏名・生年月日・出産予定日・電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 子育て支援課母子保健担当

☎(584)1015

📠(501)0051

✉famisapo@city.kasuga.tukuoka.jp

**パートナーも参加できます
マタニティクラス
助産師による話やストレッチなど**

対象 市に居住する妊婦
日時 4月22日(月)

午前10時～正午

場所 いきいきプラザ3階和室

内容 「お産の進み方を知ろう」
▽午前11時～：絵本の読み聞かせ
▽午前11時15分～：ティータイム

参加費 100円

定員 20人(申込先着順)

持ってくるもの 母子健康手帳

申込方法 4月15日(月)～19日(金)に、次のQRコードから申し込み、電話で氏名、電話番号、生年月日、出産予定日を伝える

申込・問い合わせ先 子育て支援課母子保健担当

☎(584)1015

📠(501)0051

✉famisapo@city.kasuga.tukuoka.jp



**安全安心
ポイント**



知っていますか
セキリティアパート

「セキリティアパート」とは、NPO法人福岡県防犯設備士協会が認定した、次の項目などの基準を満たした防犯性の高い賃貸集合住宅です。

- ▽ピッキングに強い
- ▽外部に危険を知らせる
- ▽窓からも侵入されにくい
- ▽訪問者の顔が分かる

防犯性能が高い点で人気が高く、引越などを検討するとき、確認してみましよう。



▲認定物件のプレート

問い合わせ先

▽安全安心課防犯安全担当

☎(584)1111(代)

▽春日警察署安全安心まちづくり推進室

☎(580)0110

親子で交流しましょう 参加しませんか はじめまして♪あかちゃん

市内に居住する生後2～6ヵ月(平成30年11月～平成31年2月生まれ)の子どもとその保護者を対象に、お出掛けデビューや友だちづくりを応援する教室です。

月齢が近い子どもとの親子同士で、交流を楽しみませんか。
※2日間とも参加できる人で、初めて参加する子どもが対象です。

※きょうだい児の参加はできません(託児なし)。
日程 5月10日(金)・15日(水)
時間 午前10時30分～11時30分
場所 須玖児童センター
内容 親子あそび(タッチケアなど)、保護者同士の交流会、保育士による相談(希望者のみ)

定員 15組(申込先着順)
申込方法 4月17日(水)～28日(日)の午前10時～午後6時に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで子どもの名前・生年月日、居住地区、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 こども未来課児童担当(須玖児童センター内)

☎(573)2431
F(584)7739
sugu-j@city.kasuga.fukuoka.jp

大人と同じ食材を使い 作り方と進め方を学ぶ 離乳食教室

料理が苦手な人も、これを機に手作りに挑戦してみませんか。
託児(生後5～8ヵ月、1人300円、先着15人、要申し込み)もあります。

対象 生後5～8ヵ月児の保護者
日時 5月29日(水)
午後1時30分～3時(受付：午後1時～)

内容 かみかみ期(9ヵ月)からの離乳食の進め方の講義、調理実習、試食
場所 いきいきプラザ
参加費 200円
定員 20人(申込先着順)
持ってくるもの 母子健康手帳、エプロン、三角巾、手拭きタオル、筆記用具

申込方法 4月15日(月)～5月10日(金)に、電話かファックスで住所、氏名、電話番号、子どもの名前・性別・生年月日、託児の有無を伝える

申込・問い合わせ先 健康スポーツ課成人保健担当
☎(501)1134
F(501)0051



子育て中の人は聞きたい来ませんか 子育て地域推進事業 春っ子ひろば無料

託児(生後6ヵ月以上の未就学児、無料、先着15人、4月26日(金)までに要申し込み)もあります。
※未就学児同伴の場合、必ず託児を利用してください。

日時 5月14日(火)
午前10時～正午
場所 市社会福祉センター(昇町3-101)

内容 親が変われば子供も変わる!～ほめ達の魔法～
講師 中村早岐子さん(ほめる達人協会特別認定講師)
定員 30人(申込先着順)

申込方法 電話、ファックス、Eメールのいずれかで氏名、電話番号、子どもの年齢(託児を希望する場合のみ)を連絡する

申込・問い合わせ先 市社会福祉協議会地域福祉課ボランティアセンター

☎(501)1136
F(581)7258

kasuga-yolo@aioos.ocn.ne.jp

福祉 Welfare

ひとり親サポートセンター 一人親のための就業支援 医療事務講習会

一人親家庭の就労、自立促進のための講習会を行います。
託児(1歳以上の未就学児、無料、要申し込み)もあります。

また、ひとり親サポートセンターは、一人親家庭の就業相談や養育費の相談を随時受け付けています。
対象 一人親家庭の母、父または寡婦で、就職や転職を希望している人

日程 6月2日～9月8日の毎週日曜日(全15回)

※講習会の全日程に出席し、終了後にアンケートに回答する必要があります。

※試験予定日は、9月22日(日)です。
時間 午後1時～5時
場所 クローバープラザ学習室(他原町3-117)

内容 医療事務に必要な基礎知識、医療機関における各種制度や関係法規、診療報酬明細書(レセプト)作成技能を含む診療報酬請求に関する知識を身に付ける

受講料 無料(検定料・テキスト代として8000円の自己負担あり)
定員 20人(申込多数の場合は書類選考、申込少数の場合は中止の可能性あり)

申込方法 5月13日(月)(必着)までに、こども未来課、県保健福祉環境事務所社会福祉課、県母子寡婦福祉連合会ウェブサイト(<http://fukuokaenboren.jp/>)から入手した申込書を郵便かファックスで送る

申込・問い合わせ先 同センター(〒816-0804原町3-117クローバープラザ受信箱11号)
☎(584)3931
F(584)3923

健康 Health

笑いながら脳を活性化しよう
今日からできる
脳活セミナー(無料)

対象 おおむね65歳以上の市民
で、簡単な運動が可能な人

日時 5月14日(火)

午前10時～正午

場所 総合スポーツセンター会議室

内容 もの忘れと運動の関係
(講話)、脳若レクリエーション、
簡単な筋トレなど

講師 富永健司さん(健康運動指導士)

定員 40人(申込先着順)

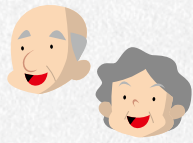
持ってくるもの 筆記用具、動きやすい服、飲み物、タオル

申込方法 電話、ファックス、直接窓口のいずれかで住所、氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 高齢課高齢者支援担当

☎(558)1205

📠(584)3090



沖縄の青い海と空の下
団体生活を楽しく学ぶ
市少年の船団員募集

対象 小学4年生～中学3年生

日程 8月17日(土)～21日(水)(4泊5日)

内容 海洋研修、平和学習、文化体験学習など

参加費

▽小学生…4万9000円

▽中学生…5万1000円

※その他、団服、団帽、報告書費用(5000円)が必要です。

※一人親家庭、心身障がい児、生活保護世帯などに、参加費の一部を助成する市の制度があります(所得制限あり)。

定員

▽小学生…40人

▽中学生…5人

※応募多数の場合は抽選です。

申込方法 5月31日(金)(必着までに、申込書に必要事項を記入して郵送するか、事務局に持参する

※申込書は、学校から配付されます。

申込・問い合わせ先 市少年の船

実行委員会 五島(ことう)816

0831大谷6124ふれあい文化センター内)

☎090(7464)6324
📠(575)0768



募集 Recruitment

ホームステイや学校体験
小学3年生～高校3年生対象
夏休み海外研修交流事業

体験を通して、お互いの理解や交流を深め、国際性を養うことを目的とした海外研修です。

○海外研修

日程 7月26日(金)～8月20日(火)

研修先 イギリス、オーストラリア、カナダ、シンガポール、フィジー(9コース設定)

参加費 36～65万円

申込期限 5月24日(金)または6月7日(金)

※コースにより対象、日程、研修先、参加費、申込期限が異なります。

申込方法 資料を請求し、参加申込書を郵送する

○事前説明会(無料、申し込み

不要)

日時 5月19日(日)

午後1時～2時30分

場所 エイムアテイン大博通り3E会議室(福岡市博多区博多駅前1-11-27峰ビル3階)

申込・問い合わせ・資料請求先

(公財)国際青少年研修協会
(〒141-0031東京都品川区西五反田7-15-4第三花田ビル4階)

☎03(6417)9721

📠03(6417)9724



つくし青年会議所
つくし路100km徒歩の旅
参加者・学生スタッフ募集

1日20km、5日で100km完歩に挑戦しませんか。

○参加者募集

対象 小学4～6年生

日程 8月19日(月)～23日(金)

(4泊5日)

コース 春日市→那珂川市→筑紫野市→大野城市→太宰



府市
参加費 2万6000円(食事代他含む)

定員 80人(申込先着順)

○中高生スタッフ研修生募集

対象 中学・高校生で100km徒歩の旅経験者

※簡単な面談を行い、参加決定者は毎週土・日曜日に研修会があります。

参加費 1万6000円

定員 若干名

申込方法 5月12日(日)の午前10時以降に、電話で住所、氏名、年齢、学校名、学年、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 つくし青年会議所事務局内「つくし路100km徒歩の旅」

▽5月12日(日)のみ

☎080(6444)6242

📠(924)8338

▽5月13日(月)以降(平日の午前10時～午後4時)

☎(924)8338

📠(921)2906

相談窓口

※いずれも無料です。また、日時や場所など、変更になることがありますので、事前に問い合わせてください。

法律・生活・行政など

- 春日市無料法律相談 ☎(584) 1148
第3水曜日:10時～16時/市役所2階市民相談室
(第1水曜日9時以降の平日に電話予約、先着15人)
- 春日市消費生活相談 ☎(584) 1155 (E兼用)
悪質商法・多重債務・金銭トラブルなど
月～金曜日:10時～12時15分、13時～16時/じよなさん
- 市生活困窮者自立相談支援窓口くらしサポート「よりそい」
☎(515) 2098 ☎(581) 7258
月～金曜日(年末年始、祝日を除く)※土・日曜日は要相談
:8時30分～17時/市社会福祉センター
- 定例行政相談 ☎(584) 1201 (面談相談のみ)
国の行政に関すること 第4火曜日(10月を除く):10時～15時/市役所2階市民相談室(予約不要)
- 福岡県交通事故相談所 ☎(643) 3168 ☎(622) 0403
月～金曜日:9時～17時(受付は16時まで)/福岡県庁

子育て・子どもの悩み、児童福祉

- 春日市子ども・子育て相談センター ☎(584) 1015 ☎(501) 0051
月～金曜日:8時30分～17時/いきいきプラザ
- 児童虐待相談 児童相談所全国共通:189(いちばやく)
- 福岡県福岡児童相談所 ☎(586) 0023
月～金曜日:8時30分～17時15分/電話相談は24時間受付
- 養育費に関する電話相談 ☎(584) 3931
月～金曜日:9時～17時(祝日、年末年始を除く)、土曜日、第1・3日曜日:9時～16時/ひとり親サポートセンター春日センター

高齢者の介護や福祉

- 北地域包括支援センター ☎(589) 6227 ☎(589) 6228
- 南地域包括支援センター ☎(595) 8188 ☎(595) 6069
月～金曜日:8時30分～17時、土曜日:8時30分～12時30分(祝日、年末年始を除く)

人権

- 定例人権(悩みごと)相談 ☎(584) 1201 (面談相談のみ)
第1火曜日(6月を除く):10時～15時/市役所2階市民相談室(予約不要)
- 福岡法務局人権相談 ☎(922) 2881
月～金曜日:8時30分～17時15分/福岡法務局筑紫支局

暴力・DV・セクハラ相談

- 春日市男女共同参画センター ☎(584) 1202
月～金曜日:8時30分～17時/じよなさん
- ちくし女性ホットライン ☎(513) 7335
月・水～金曜日:12時～19時、土曜日:10時～17時(祝日、年末年始を除く)
- 福岡県あすばる女性相談ホットライン ☎(584) 1266
月～日曜日:9時～17時(祝日を除く金曜日のみ18時～20時30分)/
福岡県男女共同参画センター(8月13～15日、年末年始を除く)

不安・悩みごと

- 福岡県警察本部犯罪被害相談「心のリリーフ・ライン」 ☎(632) 7830
月～金曜日(祝日・年末年始除く):9時～17時45分
- 心配ごと相談 ☎(581) 7225
暮らしの問題や悩み 水曜日:13時～16時/市社会福祉センター
- 福岡いのちの電話 ☎(741) 4343
さまざまな悩みや不安 24時間受付/匿名可/インターネット相談あり
(<http://www.inochinodenwa-net.jp>)



一生に一度が春日市に

問い合わせ先 健康スポーツ課ラグビー事務局
☎ (558) 0151 ☎ (558) 0292



フランス代表が春日市にやってくる

アイルランド、カナダ代表に続き、フランス代表が春日市でチームキャンプを行うことが追加決定しました。

フランスは、EU(欧州連合)の中心的な国であり、日本とは経済的・文化的に強い結び付きがあります。また、フランスと言えば、「美食の国」。食通として名高いブリア＝サヴァランは、著書「美味礼賛」で「誰かを食事に招くということは、その人が自分の家にいる間中、その人の幸福を引き受けることである」と記しています。日本もフランスも「おもてなしの国」。春日市を訪れるフランスの人たちに、春日市を楽しんで欲しいものです。

青のジャージに身を包み、「レ・ブルー」の愛称で親しまれるフランス代表は、現在世界ランキング第8位(3月18日現在)。選手が次々に連動し、華麗にパスが繋がっていく様子が、シャンパンの泡のようであることから、「シャンパンラグビー」とも称される攻撃的なラグビーで、大会初優勝を目指しています。

同国元代表主将ジャン＝ピエール・リーブの名言に、「ラグビーは少年をいち早く大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」というものがあります。大人も子どもも一緒になって、この一生に一度の機会を楽しみましょう。



私の悩み

ヤンぽみち



「毎晩寝る前に千夜一夜物語を一話ずつ読みました。新聞の悩み相談の回答にそう書いてありました。『千話読み終える頃にはあなたの環境は大きく変わっているでしょう』と▼私の最近の悩みは、体重が4kgも増えたことです。甘党な上、運動もせずに食べてばかりの生活を送っていたからでしょう▼このままではいけないと思い、少しでも運動するため、職場や自宅マンションでは極力エレベーターには乗らず、階段を使うことを心掛けています。これが結構大変で、いつも息を切らせています▼何とか継続できていますが、急に膝が痛くなるなど、もう若くはないという現実を突き付けられます▼冒頭の『千夜一夜物語』。実は3年程前に読み始めましたが、数話を読んだ後、部屋のどこかで行方不明に。当時私は何に悩んでいたのか、もう記憶にありません。①



みんなで春をつくろう

みんな春
 通信
 vol.7



住み慣れた地域でいつまでも笑顔に

昇町地区自治会 「高齢者健康促進事業」

昇町地区自治会では、「高齢者健康促進事業」を行っています。企画は昇町地区自治会とシニアクラブ白寿会が行い、40代～80代まで幅広い年代の人が参加しています。

「高齢者健康促進事業」を始めたきっかけは。

平成29年度の高齢者祝金の見直しを発端に始めました。高齢者の医療費の高騰は大きな社会問題であり、いつまでも地域で健康に生活するためには、みんなで集まって活動することが効果的だと考えました。

—どのような活動をしていますか。

子どもたちのラジオ体操の見守りや公園清掃活動などの奉仕活動、生け花や軽スポーツ体験などを行っています。また、リフレッシュのために、カフェや日帰り温泉などに行くことも。

この日は、41人が参加し、

椅子に座って手軽にできる「椅子ヨガ」を行いました。顔を動かすヨガや、歌いながらのヨガなど、ユニークな取り組みにも挑戦しました。講師の冗談に和んだり、参加者同士で教え合ったりと、いつも明るく元気な雰囲気です。

「健康促進事業」への想いを聞かせてください。
 一人一人が主役になれる自治会の行事として、たくさんの人に参加してもらいたいです。楽しく体を動かすことで健康維持や仲間づくりにもつながっています。参加者にはいつも前向きな言葉を掛けて、「健康促進事業」を一つの生きがいにしてもらっています。